



生活・安全

安全で安心なまちを目指して

義援金詐欺に注意！

震災を口実にした「だまし」に注意

9月11日、東神楽町のお宅に、電力会社を名乗る女性から「震災の関係で節電を呼びかけていますが、動力の検査をするので、お客様番号を言ってほしい」という不審電話が入りました。

今後、北海道胆振東部地震を口実にして、個人情報聞き出す「不審電話」、義援金をだまし取る「サギ」、不正な修繕費用を請求する

「悪質商法」など、さまざまな犯罪が行われる可能性があります。

電話は一旦返答を保留して警察などに相談する、訪問者は身分証明書を確認するなど慎重に対応し、被害に遭わないように十分注意してください。義援金を振り込む場合、振込先は、テレビ・新聞などで必ず確認、不審だと思ったら警察相談電話#9110にご相談ください。

【問い合わせ】
町住民保健課
生活安全グループ
☎ 73-7510

過去の震災時に見られた主な事例

事例	事例の内容
事例①	役場（市役所）職員を装い家庭を訪問し、募金を求めた。
事例②	公的機関と紛らわしい機関名をかたり「避難地確保のため寄付してください」などと言って振り込ませようとした。
事例③	息子の名をかたり「職場で集めた義援金をなくしたのでお金を準備してほしい」と現金を求めた。
事例④	被災者を装いネット掲示板に「交通費を支援してほしい」などと書き込み、支援金を求めた。
事例⑤	実在する団体の名称をかたり「災害支援基金への寄付をお願いします」というファックスを送信し、実在団体とは別の個人名の口座に振り込ませようとした。
事例⑥	「仮設住宅に入っている人を老人ホームに入れたいので名義を貸してほしい」と言い承諾を得た上で、後日「名義貸しは犯罪」と言って解決金を求めた。

消防

【平成30年度全国統一防火標語】

忘れてない？サイフにスマホに火の確認



【問い合わせ】
南空知消防組合消防署
☎ 72-0150

全道一斉に秋の火災予防運動

10月15日(月)～31日(水)

これからの季節は、空気が乾燥します。また、暖房器具などの火気を取り扱う機会が増えるため、1年を通して火災が発生しやすい時期となります。

この機会に、身の回りの火の元を点検したり、避難口を確認するなどして火災予防に対する意識を高め、尊い生命と貴重な財産を火災から守りましょう。

◆住宅用火災警報器の点検を

平成23年6月より、全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。

万が一の際にきちんと作動するよう、月に一度は住宅用火災警報器の手入れと作動確認をしておきましょう。

○手入れ

本体に付いたホコリが溜まると、火災を感じにくくなることや誤作動を起こすことがあるので、最低でも年に1回は乾

平成30年度 秋季消防演習日程

下記の日程で、秋季消防演習を行います。演習実施中に車両のサイレンが鳴ることがありますので、火災と間違わないようにお願いします。

分団名	地区	日時	場所
第1分団	栗山	10月13日(土) 14:00～	栗夢広場
第2分団	角田	10月中旬 15:00～	角田小学校グラウンド(予定)
第3分団	継立	10月中旬 13:30～	南部公民館(予定)

まだ設置していない方は、全寝室および階段室（2階に寝室がある場合）に設置しましょう。ご不明、ご心配なことがあれば消防署まで連絡ください。

いた布でホコリをふき取る
○作動確認
本体の点検ボタンを押す、もしくは点検用ひもを引き、異常の有無を確認



ごみ分別への ご協力をお願いします

ごみ処理施設見学会を開催します

日々の生活の中で、ごみに関する疑問を持たれたことはありませんか？

町では、ごみ処理施設の見学会を開催し、町民の皆さんに実際にごみの処理現場を見学していただき、ごみ分別などに対する理解を深めていただきたいと思います。

当日は担当職員が説明しますので、気軽にご質問いただき、日ごろのごみに対する疑問を解消していただければと思います。

◆日時

10月19日(金) 午前9時～正午

◆定員

50人(定員になり次第締め切り)

◆申込方法

町環境政策課へ電話で予約

◆申込期間

10月1日(月)～17日(水)

※参加いただいた皆さん全員に、粗品をプレゼントします。

【問い合わせ】
町環境政策課
環境政策グループ
☎ 73-7511

ごみ処理施設見学会日程

時間	内容
9:00	(継立) 南部公民館出発
9:15	(角田) 農村環境改善センター出発
9:25	総合福祉センター「しゃるる」出発
9:30	役場出発
9:35	カルチャープラザ「Eki」出発
9:45	資源リサイクルセンター見学
10:30	環境センター（堆肥化施設・中間処理施設・最終処分場）見学
11:30	終了



秋の全町一斉清掃

【日時】10月14日(日) 7:00～

【場所】町内全域



※6:45に打上花火で合図を行います。(雨天決行)
※詳細は、各町内会・自治会経由で通知します。

堆肥「栗肥土」秋の特別販売

【日時】10月6日(土) 9:00～

【場所】役場駐車場車庫前

【価格】1袋(10kg) 300円

【販売数量】500袋

【特典】5袋につき1袋プレゼント

※無くなり次第終了となります。





元気が一番

保健のお知らせ

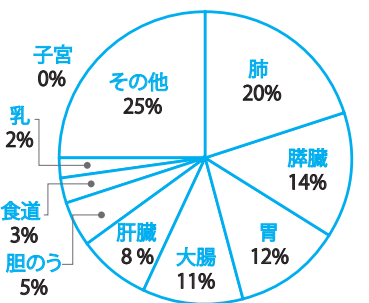
【問い合わせ】
町住民保健課
健康推進
グループ
☎ 73-2256

受けていますか?「がん検診」

生涯を通して考えた場合、日本人の2人に1人ががんになると言われています。

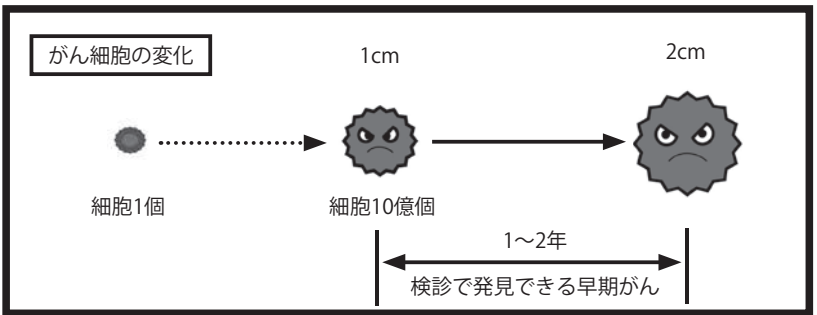
栗山町の死因のトップも「がん」です。がんの中でも肺がんが死亡する方が最も多く、次に膵臓がん、胃がんの順になっています。

がん部位別死亡割合(H23～27)栗山町



※人口動態統計より

がん検診は、町からの費用助成を受けられる年齢・健診機関があります。詳しくは、町住民保健課健康推進グループへ、お気軽にご相談ください。



【上図】がん細胞の変化
早期がんのうちに発見できる時間は、たった1～2年。定期的ながん検診を受けることで、がん発見後の生存率を高めることができます。

インフルエンザ予防接種費用の一部助成のお知らせ

【対象者】

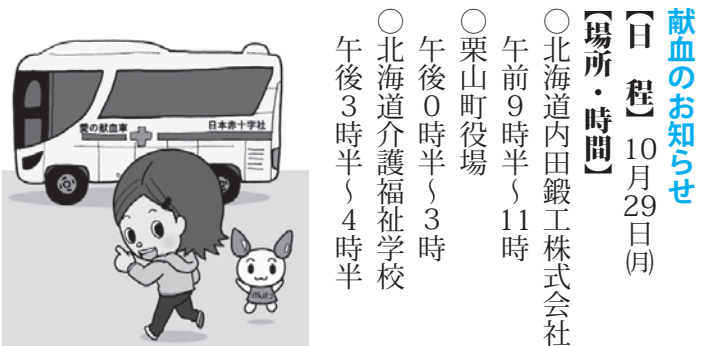
- ① 65歳以上の町民
- ② 60歳から65歳未満で、心臓、腎臓または呼吸器の機能に日常生活活動が極度に制限される程度の障害を持つ方およびヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を持つ方

※インフルエンザの流行は例年1月上旬から3月上旬が中心です。予防接種の効果が表れるまでには接種後約2週間程度かかり、5カ月間効果が持続すると考えられていますので、12月中旬頃までに接種しましょう。

【助成金額】

1500円
(生活保護世帯は全額助成)
※町内医療機関で接種される方は、接種費用から助成金額を控除した額を医療機関にお支払いください。

【望ましい接種時期】
10月～12月中旬
【献血のお知らせ】
【日程】10月29日(月)
【場所・時間】
○北海道内田鍛工株式会社
午前9時～11時
○栗山町役場
午後0時半～3時
○北海道介護福祉学校
午後3時半～4時半



保健福祉のコラム

介護老人保健施設 ガーデンハウスくりやま 看護科長
ケアプランセンターくりやま 介護支援専門員

渡部 百合子



認知症の人のケアについて ～パーソン・センタード・ケアの視点から～

あなたがこれから認知症の人に初めて会うことになったとします。その時、あなたの中にはどんな気持ちが生れますか?

「こちらの言うことをわかってくれるだろうか」「認知症の程度はどの位だろう」「何を話せばいいだろう」「できれば会いたくない」等々・・・。認知症ではない人と初めて会う場合と比べて、戸惑いや不安が生じてはいませんか? また、その時点で、健康者同士のような話し相手とは考えられなくなってしまうこともあるかもしれません。

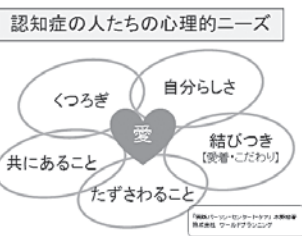
イギリスの故トム・キッドウッド教授(ブラッドフォード大学)が提唱した、「パーソン・センタード・ケア」が数年前から日本の介護の世界でも広まってきています。「その人を取り巻く人々や社会と関わりをもち、人として受け

入れられ、尊重されていると、本人が実感できるように、ともに行っていくケア」のことです。ケアする人、される人という一方通行の関係ではなく、お互いに「私には必要とされている」と感じられる相互関係をつくることです。

認知症が進行するとコミュニケーション(コミュニケーション)をとることが難しくなり、生活に支障をきたす場合があります。その要因として、本人がうまく自分の気持ちや意見を伝えられないことや、相手が気持ちを察する余裕や意欲などが不足していることも考えられます。

認知症の人の心理的ニーズを、故トム・キッドウッド教授は、以下のように伝えています。
◆くつろぎ・・・身体的な苦痛がなく、心身共にリラックスしたい
◆自分らしさ・・・自分が自分であり続けたい

◆結びつき・・・なじみ、愛着、こたわりの大切になれた
◆たずさわる・・・役割を持ちたい、やれることはしたい
◆共にあること・・・人や社会とつながっていたい
もし、認知症の人が目の前で混乱していたら、すぐに対処するのは難しく、まずはこれらのニーズの何が満たされているのかに目を向けてみてください。ほんの少し、認知症の人の立場で考え、本人を尊重する対応をすることで、改善されることがあります。



認知症になること、認知症の人の介護者になること、この二つは今や特別なことではありません。誰もがなりうる可能性があります。今、実際に家族を介護してい

る私自身もこの現実と向き合いながら毎日を送っています。自分が認知症になっても、家族が認知症になっても、意思を尊重され、できなくなったことを温かくサポートしてもらえれば、認知症になっても安心して生活していけるのだと思います。社会の一員として尊重され、差別を受けることがないように、その人の視点に立つて、共感をもち理解しようとする姿勢が私たちに求められています。認知症の人に対する心のバリアを外し、誰もが認知症サポーターであれば、皆が幸せに生きられる社会になっていくのではないのでしょうか。



※栗山町地域医療協議会のご協力により、「リレー方式」で連載しています。



社会全体で支えられるように 認知症の人と共に暮らすまちづくり

認知症に対する正しい知識と対応の重要性について学ぶ「認知症の人と共に暮らすまちづくり研修会」が8月21日、カルチャープラザ「Eki」で開催されました。北広島メンタルクリニックの穴澤龍治院長を講師に招き、「もしかしして認知症？」認知症の早期発見について」と題して講演。スライドを使って認知症の症状や、予防治療について説明し、町内外から集まった100人を超える参加者は熱心に聞き入っていました。終了後、参加者には認知症サポーターの証である、オレンジリングが手渡されました。



安全・安心なまちづくりのために 総合防災訓練

平成30年度の「栗山町総合防災訓練」が9月2日、角田小学校で行われました。災害に強い地域づくりと地域住民の災害に対する意識の向上を目的に毎年開催。今年は、地震により住宅などに被害が発生する恐れがあると想定し、町が設置した災害対策本部が、角田地区に避難勧告を発令。対象住民約80人が避難訓練を行いました。このほか、消防団による放水訓練、栗山赤十字病院による救護訓練と応急手当講習などを実施。参加者は訓練・講習を通して防災の意識を高めました。

地震に負けない！ くりやままんぷく大作戦

若手農業者が、地震で食材などに困っている町民を応援しようと9月9日、「くりやままんぷく大作戦」をJAそらち南駐車場で行いました。長ねぎやピーマン、米、じゃがいもなどが格安で販売されたほか、玉ねぎの詰め放題や北海道三富屋株式会社によるコロッケ販売も実施。田中誠司実行委員長は「栽培した野菜が地震の影響で出荷できない中、町民の方々が食材に困っていることを知り、農家として町民に何か還元できないかと思い開催しました」と思いを語ってくれました。

町内の若手農業者が米や野菜を格安で販売



栗山町で農業体験 東京大学学生

生産現場の理解を深めようと、東京大学の学生が9月10日から栗山町内で農業体験を行いました。体験は9月19日まで実施され、期間中、メンバーを入れ替えながら10人が栗山農業の実情を学びました。9月12日は継立地区の国岡正好さんの圃場でぼっ



魚道をきれいに 栗沢頭首工で除草作業

夕張川を上るサケの障壁となっていた農業用水取施設・栗沢頭首工の魚道「サーモンロード」で9月15日、夕張川自然再生協議会など町民有志による除草作業が行われました。同魚道が平成27年3月20日に完成して以来初めて作業を実施。町民有志のほか、札幌開発建設部より魚道の管理委託を受けている環境コンサルタントの株式会社エコテック（札幌市）の社員も応援に駆け付け約30人が約1時間半にわたる作業に汗を流しました。作業を終えた高橋慎会長は「サケが気持ちよく産卵できる環境を整えていきたい」と話していました。また、除草作業前には、町内を流れる夕張川支流の雨煙別川で川底に溜まったビニールなどを拾い上げる河川清掃ボランティアも行われました。



札幌市民と収穫 稲刈り体験ツアー in くりやま

毎年恒例となつて「稲刈り体験ツアー」が9月16日、南学田の井澤智明さんの水田で行われました。このツアーは札幌市白石区の親子などを対象とし、稲刈り体験を通して農業を理解してもらい、食や米に対する関心を高めることを目的として実施。そ



①②晴天の中、魚道付近の除草に尽力